

~~~~~  
 雑 報  
 ~~~~~

Okazaki-Levy-Rudenko (1989r) 彗星の発見

山形県西村山郡河北町の岡崎清美氏は、1989年8月24日 21^h00^m~07^m と 21^h08^m~15^m (いづれも J.S.T.) に撮影した 2 コマの写真原板上に 13.5 等級の彗星像を発見した。折からの台風 17 号による荒天のため確認に至らなかったが、8月26日 20時すぎに国立天文台宛に通報して来られた。

国立天文台で、その確認などの対応にやや手間取っている内、天文電報と IAUC は D. Levy (アリゾナ) と M. Rudenko (アッシュフィールド) の 2 人がそれぞれ独立に新彗星を発見したことを知らせて来た。この天文電報が IAU 天文電報中央局から発せられたのは、8月26日 23^h45^m (J.S.T.) であり、岡崎氏が天文台へ通報されたのはこの発信より約 3 時間半前であった。

国立天文台では、以上の内容を IAU へ急ぎ通報したところ、8月28日付の IAUC 4841 号で、正式に

Comet Okazaki-Levy-Rudenko (1989r)

として命名された。岡崎氏の発見位置は下の通り。

α (1950.0) δ
 1989 Aug.24.50243 15^h28^m7 +34°22'

岡崎清美氏は今までに、Suzuki-Saigusa-Mori (1975X) 彗星の独立発見、1983年 NGC 4753 の超新星、1984年 NGC 3195 の超新星を発見しておられる。

(香西洋樹)

~~~~~  
 お 知 ら せ  
 ~~~~~

東京学芸大学教育学部地学教室教官公募

公募人員：助手 1 名
 専門分野：天文学。加えて天文教育・理科教育の研究に関心があること
 職務内容：天文学全般にわたる実験、演習、卒業研究の指導
 応募資格：おおむね 30 歳以下で、大学院修士課程を終了した方、またはこれと同等以上の学識・研究業績を持つ方
 提出書類：(1) 履歴書 (2) 論文リスト (3) 論文別刷、またはコピー (4) これまでの研究経過と今後の研究計画(1200字以内)および理科教育に関する抱負(800字以内) (5) 本人について意見をうかがえる方 1~2名の氏名とその連絡先、または推薦状

提出先および問い合わせ先：

〒184 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
 東京学芸大学教育学部地学教室主任
 下田真弘
 (提出書類は書留便とし、封筒に公募と朱書すること。電話による問い合わせは御遠慮ください。)

締 切：1990年2月9日(金) 必着

着任時期：決定後できるだけ早い時期

京都大学理学部物理学第二教室教官公募

公募人員：教授 1 名
 専門分野：赤外線・X線等による宇宙の観測的研究
 着任時期：決定後なるべく早い時期
 提出書類：履歴書、研究歴、業績リスト、主要論文別刷研究計画書。他薦の場合は上記書類(研究歴・研究計画書を除く)の他に推薦書。
 応募締切：1990年3月31日(土) 必着
 宛 先：〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学理学部物理学第二教室主任 三宅弘三
 (封筒に公募書類在中、又は推薦書在中と朱書し、書留で送付のこと)
 問合せ先：三宅弘三 電話 (075-753-3837 又は -3820)

国立天文台電波天文学研究系教官公募

募集人員：助手 1 名
 専門分野：電波天文学の研究・観測・開発等を担当する。野辺山においては、VLBI 研究の充実整備・45m 鏡・ミリ波干渉計等の観測装置による研究・システム開発や将来計画を進めつつあり、共同利用も含めこれらを積極的に担う方を希望する。
 着任期間：決定後なるべく早い時期
 勤 務 地：野辺山
 応募資格：大学院修士課程修了、又はそれと同等以上の方
 提出書類：希望する職種、(1) 略歴、(2) 研究歴、(3) 論文リスト及び主要論文別刷、(4) (自薦の場合) 研究計画及び本人についての意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先、(他薦の場合) 推薦書
 公募締切：1990年3月12日(月) 必着
 提出先：〒181 三鷹市大沢 2-21-1
 国立天文台 台長 古在由秀
 Tel. 0422-41-3657 (庶務)
 問合せ先：長野県南佐久郡南牧村野辺山
 国立天文台野辺山宇宙電波観測所 海部宜男
 Tel. 0267-98-2831 内線 92
 そ の 他：封筒の表に「人事公募(又は推薦)書類」在中と朱記して下さい。決定は国立天文台運営協議員会議において行います。なお前回(天文月報 1989年6月号)に掲載の電波天文学系